The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	語文　第31輯　編集後記/投稿規定/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1973, 31
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68614
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編集後記

「われわれは学風とか学派とかそんなことは問はない。いやしくも価値あり認める論文はできる限り掲載する。また掲載論文等に対する批評質疑も採るべきものは公表したいと思ふ。御支援を仰ぐ次第である」

「語文」創刊号（昭和二十五年十一月）の編集後記の一部である。ことさら引用するのはそれが（林記）とあるからである。本号は本年四月をもって停年退官された林和比古教授の退官を記念する意図で編集されている。林教授は本誌創刊号の執筆者であり編集後記すら書いておられる。本誌をもって林教授の退官記念を編むことは意義深いことといえよう。

ついでながら、創刊号は「研究室の者で書かう」ということであったらしいが、その執筆者の中では現在、田中教授のみしか研究室におられないのは、本年が文学部創設二十五周年にあたることを思えば当然ともいえようが、一洙のさびしさは禁じえない。

今回の原稿募集に際しては林教授の薫陶を得た会員の方々から多くの寄稿を得たが、紙数の都合上割愛せざるを得なかったことは誠に申し訳けない。又前に述べたことからも、本号に林教授の寄稿を得たことは本誌に対する教授の愛著が強く感じられ感謝する次第である。今後とも教授の御支援を仰ぎたい。

◇投稿規定◇

○直接贈読者は投稿することができる。
○原稿の内容は国語・国文学、国語教育に関するものであること。分量は四百字詰原稿用紙三十枚以内とする。
○原稿の送り先は「豊中市待兼山町一大阪大学文学部国文学研究室内、語文編輯委員」宛。
○原稿の採否は編輯委員に一任のこと、
○採用しなかった原稿は返送料が添附してあれば返送に応ずる。
○一括購読者が投稿する際には代表者から紹介せられたい。

❖雑誌の寄贈・交換・購読について

○雑誌の寄贈・交換・講読は大阪府豊中市待兼山町一　大阪大学文学部国文学研究室宛に願いたい。

（振替　大阪　四三三二〇
電話　〇六（六五六）一一五一）

¥ 250

発行所　〒542　大阪市南区横堀7丁目19　文　進　堂　振替大阪112730番　電話船場(251)1990番
編輯者　〒560　大阪府豊中市待兼山町1　大阪大学文学部国文学研究室　代表　池上禎造